



## 主婦が考えた理想の家

京都府産木材使用量  
14.7083 m<sup>3</sup>

[ 設計 ]

すずぎ建築設計事務所  
大阪府高槻市土室町 53 番 11 号

[ 施工 ]

株式会社能見工務店  
京都府京都市西京区大原野上里男鹿町 1 番地 5

土台や柱などは京都府産の檜を使用し、横架材や母屋には杉を使用しました。玄関まわりの外壁は焼杉板でアクセントにし、格子を施し和の雰囲気を出しました。

洋間の天井と吹き抜けの天井に杉板を使用し、床は1階に杉を、2階には桜を使い、木に囲まれた安心感を演出しています。

伝統技術を継承するため、墨付けと刻みで建てました。見習い3年生が墨付けを行い、全て確認した後に刻んだため少し工期がかりました。桧の丸太梁はちょうどなで所り、時の経過とともに古民家のようになっていきます。壁は珪藻土を施し室内の空気環境にも配慮しました。

最先端の建築技術と京都の木の文化に基づく伝統技術を融合させ、自然を感じるエコな暮らしをめざしました。家の中でも森の中の様に「ホッ」とする。木に囲まれた生活は、心豊かな暮らしに繋がります。

間取りや収納は経験豊かな主婦のアドバイスを多数取り入れ、敷地は狭小でも心地いい風と光が入る開放感のある空間にしました。また、将来は“新婚の家”“子育ての家”“老後の家”に容易に間取りが変えられ、永く暮らせる家になりました。家族のため多くの時間をさいている主婦の想いが詰まった、世代を超えて住める家を実現できました。